

届出

[平成19年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

了徳寺大学 健康科学部 整復医療・トレーナー学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 了徳寺大学
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務局総務課

職名・氏名 ヤマダ ケンタロウ
山田 健太郎

電話番号 047-382-2111

F A X 047-382-2017

e-mail k-yamada@ryotokuji-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	省略
3	施設・設備の整備状況、経費	12
4	既設大学等の状況	13
5	教員組織の状況	省略
6	留意事項に対する履行状況等	26
7	その他全般的事項	27

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 了徳寺大学

(2) 大学名

了徳寺大学

(3) 大学の位置

〒279-8567
千葉県浦安市明海五丁目8番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	リョウトクジ ケンジ 了徳寺 健二 (平成17年12月)		
学長	ヒラマツ レイジ 平松 礼二 (本名 平松 邦夫) (平成18年4月)	ナリタ アツヒコ マシヤマ シゲル 成田 篤彦 増山 茂 (平成22年4月) (平成19年10月)	平松礼二教授が健康上の理由により辞任したため(21) 増山茂教授が学長任期を満了したため(22)
	マシヤマ シゲル 増山 茂 (平成18年4月)	アイカワ エイゾウ ミカタ アツオ 相川 英三 三方 淳男 (平成21年4月) (平成19年10月)	増山茂教授が学長に就任したため(21) 三方淳男教授が健康上の理由により辞任したため(21)
学科長等	フクシマ ヒデオ 福島 英夫 (平成19年4月)	オオサワ ヒロユキ 大澤 裕行 (平成20年4月)	福島英夫教授を附属接骨院の開設準備の責任者(院長)としたため(21)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 整復医療・ トレーナー学科 学士(柔道整復学)	4 年	80 人	0 人	320 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員	()	()	()	()	()	1.22倍	
	80	80	80	80			
志願者数	()	()	()	()	()		
	302	379	360	265			
受験者数	()	()	()	()	()		
	294	376	359	263			
合格者数	()	()	()	()	()		
	135	118	119	115			
B 入学者数	()	()	()	()	()		
	95	99	95	104			
入学定員超過率 B/A	()	()	()	()	()		
	1.18	1.23	1.18	1.3			

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備 考
1年次	[]	[]	[]	[]	[]	平成21年4月1日付けで芸術学部美術学科より2年次に転科1名(21)
	95	99	95	104		
2年次	/	[]	[]	[]	[]	平成22年4月1日付けで芸術学部美術学科より2年次に転科5名(22)
		93	99	99	99	
3年次	/	/	[]	[]	[]	
			92	97		
4年次	/	/	/	[]	[]	
				88		
計	[]	[]	[]	[]	[]	
	95	192	286	388		

- (注) ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [2人]	(累積)計 [95人]	[%] 2.1%
	うち平成19年度入学者 2人	うち平成19年度 95人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 1人 ・就学意欲の低下 1人		
平成20年度	計 [2人]	(累積)計 [192人]	[%] 1.0%
	うち平成19年度入学者 1人	うち平成19年度 93人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 99人	
	(主な退学理由) ・学生個人の心身に関する事情 1人 ・他の教育機関への入学・転学 1人		
平成21年度	計 [0人]	(累積)計 [286人]	[%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 92人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 99人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 95人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [7人]	(累積)計 [388人]	[%] 1.8%
	うち平成19年度入学者 3人	平成19年度 88人	
	うち平成20年度入学者 3人	平成20年度 97人	
	うち平成21年度入学者 1人	平成21年度 99人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 104人	
(主な退学理由) ・除籍 5人 ・他の教育機関への入学・転学 2人			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	了徳寺大学スポーツ パーク（校舎敷地と別 地）取得による増 （車80分、50km） （22）	
	校 舎 敷 地	12,473.73㎡ 12,346.51㎡	0㎡	0㎡	12,473.73㎡ 12,346.51㎡		
	運 動 場 用 地	72,441.27㎡ 3,137.21㎡	0㎡	0㎡	72,441.27㎡ 3,137.21㎡		
	小 計	84,914.50㎡ 15,483.72㎡	0㎡	0㎡	84,914.50㎡ 15,483.72㎡		
	そ の 他	21,966.22㎡ 0㎡	0㎡	0㎡	21,966.22㎡ 0㎡		
	合 計	106,880.72㎡ 15,483.72㎡	0㎡	0㎡	106,880.72㎡ 15,483.72㎡		
(2) 校 舎	専 用	20,698.72㎡ 19,095.2㎡	0㎡	0㎡	20,698.72㎡ 19,095.2㎡	了徳寺大学スポーツ パーク事務所が増えた ため（22）	
	(19,095.2㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(19,095.2㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設		
	26室	5室	20室	1室 (補助職員 1人)	1室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	健康科学部 整復医療・トレーナー学科			10 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	健康科学部 整復医療・ トレーナー学科	100〔0〕 (100〔0〕)	3〔1〕 (3〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	0 (0)	700 (700)	0 (0)
	計	100〔0〕 (100〔0〕)	3〔1〕 (3〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	0 (0)	700 (700)	0 (0)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	1,886.3㎡		284席		190,000冊		
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				
	1,071.17㎡						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	550千円	541千円	図書購入費	750千円	150千円
	共 同 研 究 費 等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	2,200千円	0千円	0千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		1,800千円	1,600千円	1,600千円	1,600千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要		証明手数料収入					

- (注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等（平成20年度届出以前）については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等（平成21年度届出以降）については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
 - ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称		〇〇大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
芸術学部 美術学科	4	—	—	—	学士 (芸術学)	—	平成18年度	千葉県浦安市 明海五丁目 8番1号	平成22年より 学生募集停止
健康科学部 理学療法学科	4	80	—	320	学士 (理学療法学)	1.25	平成18年度		
大学の名称		〇〇短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<健康科学部 整復医療・トレーナー学科>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 情報の提供 大学理念、教育研修活動の状況、財務等の情報をインターネット、大学案内、研究紀要、作品集等によって関係者、地元及び広く一般に提供する。</p> <p>② 特別教室として情報処理科目、外国語科目の教室を各1室設置する。</p> <p>③ 体育館の室内は、バスケットボール、バレーボール、卓球、新体操、体操、トランポリン、剣道などのできるアリーナとし、スポーツ実習の授業や日常の稽古で柔道を行う柔道場も兼ねるよう整備する。</p>	<p>① 設置届出後、ホームページを開設し、大学理念、教育課程、教員予定者の業績、学生募集の内容などを公開した。以降、上記に係る詳しい情報を追加掲載している。 平成20年度からは、開学理念、学長挨拶、新学科・新コース（健康科学部 整復医療・トレーナー学科・芸術学部美術学科こころアートコース）紹介ページ、在学生向けの学内WEB掲示板（休講・講義課題掲示・お知らせ・イベント情報）、履修登録・時間割閲覧WEBシステムを追加掲載した。また、各学部・学科ごとに最新ページ更新を行い、学内の最新情報を掲載している。</p> <p>② 英語の授業は20名のクラス編成で行っており、開学当初計画していた大規模な語学学習室は使用していない。今後は、授業の形態に見合った語学学習室の整備を検討する。</p> <p>③ スポーツ設備のうち、バスケットコート、テニスコート、バレーコート、サッカーゴールをグラウンドに整備した。体育館では、柔道、剣道、新体操、体操などができるが、それ以外については、学生の意向を聞きながら、設備を整備する。また、平成19年度の健康科学部整復医療・トレーナー学科の開設に合わせて、トレーニングルームを設置・整備した。</p>

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 学長の下に組織する教職員研修会議を設置。授業方法の改善や教育内容の充実など教員の教育力の向上に努める。 平成18年5月設置。※別添「教職員研修に関する規程」</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>第1回 平成18年7月27日（教員7名、事務職員2名） 第2回 平成18年10月19日（教員9名、事務職員4名） 第3回 平成20年11月6日（教員4名、事務職員1名） 第4回 平成21年3月4日（教員6名、事務職員2名） 第5回 平成21年5月19日（教員6名、事務職員1名） 第6回 平成22年5月6日（教員5名、事務職員1名）</p> <p>c 委員会の審議事項等 基本的な方針と具体的な取り組みを検討。</p>
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 全教員対象の研修会

b 実施方法

- ・ 授業評価アンケートは、前期（7月）と後期（1～2月）の年2回実施。
- ・ 教員相互の授業参加及び全教員対象の研修会については、テーマごとに担当教員が公開授業及び講習を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成18年11月「情報処理演習」（教養教育）公開授業（約30名参加）
- ・ 平成18年12月「日常生活活動実習」（理学療法学科）公開授業（約30名参加）
- ・ 平成19年7月「メンタルヘルスの基礎知識と学生対応ガイダンス」をテーマとした研修会（約50名参加）
- ・ 平成19年11月「学生との対話展開の実践研修」をテーマとした研修会（約30名参加）
- ・ 平成20年11月全教員を対象に「FDアンケート」を実施、平成21年3月「FDアンケート」報告会
- ・ 平成21年5月小田隆治教授（山形大学）による講演会と自由討議を開催
- ・ 平成21年11月「情報処理演習」（教養教育）公開授業（5名参加）
- ・ 平成22年2月竹内晶子准教授（法政大学）による講演会と自由討議を開催「授業評価アンケートについて」

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生の意見に対して授業科目ごとに対応策を検討し、授業の改善を図っている。

授業参観及び研修会の後、討論会を実施。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

21世紀の来るべき超高齢社会に対応するため設置した健康科学部に、同様の趣旨により診療報酬制度上リハビリテーションの一員として位置づけられることとなった柔道整復の学科を増設した。柔道整復の後療サービスに関連するスポーツリハビリテーションの需要にも応えられるようアスレティックトレーナー（AT）科目を設け、併せて、論理的トレーニング指導と怪我の応急措置ができる質の高い教員を育成することとして開設した。発足に合わせて、（財）日本体育協会のAT認定校及び教職課程（保健体育）認定校となった。

また、卒業生が進路選択の幅を広げるため、平成21年度からNSCAジャパンCSCS、平成22年度から（財）健康・体力づくり財団の健康運動指導士のそれぞれ認定校となった。

平成22年5月現在、4学年で在学者388人、全員が履修する卒業要件科目のほか、AT科目を約6割、教職課程を約5割の学生が選択履修している。当初計画に沿い学年進行しているといえる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 平成22年度 公表予定

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 平成24年度に評価機関（（財）日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で準備中

(1) 平成18年4月に自己評価委員会（委員長：副学長）を設置した。5月に第1回委員会を開催し、具体的な取り組みについて検討した。

(2) 平成18年7月から12月まで自己評価委員会を4回開催し、自己評価実施の進め方について検討した。自己評価活動の一つとして、平成19年2月、授業アンケートと併せて、学校生活についてのアンケート調査を行った。

(3) 平成19年7月自己評価委員会を開催し、前年度に引き続き自己評価の進め方について検討した。

(4) 平成20年10月から教育研究の部会において、各学科ごとに点検・評価報告の原稿作り作業を開始した。

- (注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 10月 1日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.ryotokuji-u.ac.jp>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

別添

了徳寺大学 教職員研修に関する規程

〔平成18年 6月14日〕
了徳寺大学規則 第16号

(目的)

第1条 この規程は、了徳寺大学（以下「大学」という。）における教職員の研修に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(研修及び研究の実施)

第2条 大学における教育内容の充実、授業方法の改善など教員の教育力の向上を図るため、並びに非教育系職員の能力開発を行うため、組織的な研修及び研究（以下「研修等」という。）を毎年度計画的に行うものとする。

(実施の決定)

第3条 研修等の実施については、理事長の承認を得て、学長が決定する。

(教職員研修会議)

第4条 研修等の企画及び実施に関し必要な事項を審議するとともに、第2条に定める研修等の運営にあたるため、教職員研修会議（以下「会議」という。）を設置する。

2 会議は、副学長及び各学科、教養教育センター、医学教育センターが推薦する教員各1名並びに事務局長で組織する。

3 前項のうち副学長及び事務局長を除く構成員は、学長が任命するものとし、その任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

4 会務を統括するため会議に議長を置き、副学長をもって充てる。議長に事故あるときは、議長があらかじめ定めた構成員が議長の職務を代行する。

5 会議は、次の各号に掲げるとき議長が招集する。

- 1) 議長が必要と認めたとき
- 2) 構成員の3分の2以上の者から要請があったとき
- 3) 理事長又は学長から諮問があったとき

6 会議の運営に関し必要な事項は、構成員の同意を得て議長が別に定める。

(会議の庶務)

第5条 会議の庶務は、事務局総務課において処理する。

附 則

- 1 この規程は、公布の日から施行し、平成18年4月1日から適用する。
- 2 この規程は、平成19年4月1日から施行する。